

科目名 (科目番号)	小児看護学概論 (074171)	教員名 山縣 香織	学科等	看護	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
			オフィスアワー		月4	A215研究室(山縣)	
授業概要	<p>昨今の社会環境の変化は、子どもと家族にも大きな影響を与えている。そこで、子ども観の変遷・子どもにとっての環境の意味・子どもの権利からみた子どもの心身の健康・社会状況の変化などを学ぶことを通して、子どもの健全な成長発達と健康増進のための小児看護の役割・機能について理解することを目的とする。同時に、生涯発達からみた小児期の各発達段階にある子どもの形態的、機能的、精神・社会的な特徴および発達課題、養護(栄養・日常生活援助など)の方法を学習し、さまざまな健康レベルにある子どもと家族への看護につなげていく。</p> <p>関連する垂直軸: 看護、健康の状態、人間の理解、生活環境、</p>						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	小児看護の理念と対象	到達目標: 小児看護の目指すところは何かを理解する。 学習内容: 子ども観や小児医療・小児看護の変遷および小児看護の対象について学習する。				
	2	子どもを取りまく地域社会・家族状況(海外含む)	到達目標: 小児と家族の諸統計を基に、地域社会・社会情勢の変化と、子どもをめぐる問題点を理解し家庭を中心とした子育て支援のあり方が考えられる。 学習内容: 人口動態統計をもとに、子どものおかれている状況を学習する。				
	3	子どもと親を支援するための法律・施策	到達目標: 小児看護に活用できる法律・施策が説明できる。 学習内容: 小児の福祉や保健に関連した各種法律・施策や少子化対策について学習する。				
	4	子どもの権利と小児看護の倫理的配慮	到達目標: 小児看護実践と『子どもの人権』との関連を理解する。 学習内容: 子どもの権利の歴史の変遷と小児看護領域での子どもの人権について学習する。				
	5	小児の成長発達と生活総論	到達目標: 子どもの成長・発達の基本的特性と小児看護で用いられる理論が理解できる。 学習内容: 小児の成長発達に関する用語、一般の原則、発達に関わる理論を学習する。				
	6	小児の成長発達と生活新生児①	到達目標: 出生時の形態的生理的特徴について理解する。 学習内容: 出生時の一般的形態的特徴、新生児の身体生理的適応過程について学習する。				
	7	小児の成長発達と生活新生児②	到達目標: 新生児期の栄養と、日常生活およびその援助について理解する。 学習内容: 母乳栄養と人工栄養、日常生活の世話と事故防止について学習する。				
	8	小児の成長発達と生活乳児①	到達目標: 乳児期の成長・発達と看護について理解する。 学習内容: 乳児期の形態的成長・身体生理、機能別発達(感覚、運動、知的、情緒・社会)日常生活援助、離乳の目的や進め方、乳児期の死亡の原因と一般的健康問題とその支援について学習する。				
	9	小児の成長発達と生活乳児②					
	10	小児の成長発達と生活乳児③	到達目標: 乳児期の日常生活についての援助技術を習得する。 学習内容: 乳児期の日常生活の世話として、抱き方、衣類の着脱方法、人工栄養の調乳、離乳食の作成と試食を実際に行う。				
	11	小児の成長発達と生活幼児①	到達目標: 幼児期の成長・発達と看護について理解する。 学習内容: 幼児期の形態的成長・身体生理、機能別発達(感覚、運動、知的、情緒・社会)、幼児食、日常生活の自立と世話について学習する。				
	12	小児の成長発達と生活幼児②					
	13	小児の成長発達と生活幼児③	到達目標: 幼児期の健康問題と看護について理解する。 学習内容: 幼児期の予防接種・感染予防対策、一般的健康問題とその支援について学習する。				
	14	小児の成長発達と生活学童・思春期	到達目標: 学童期・思春期の成長・発達と看護について理解する。 学習内容: 学童期および思春期の形態的成長・身体生理、機能別の発達(感覚、運動、知的、情緒・社会)、健康問題について学習する。				
	15	小児の成長発達と評価	到達目標: 身体発育や心理社会的発達の評価を理解する。 学習内容: 標準値や指数を用いた形態的発達の評価、および社会心理的発達の評価を学習する。				
成績評価の方法・基準	試験(80%)・ミニテスト(20%)にて評価する。						
教科書	系統看護学講座専門分野Ⅱ 小児看護学1		奈良間美保 丸光恵 他			医学書院	
参考図書	ナーシング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護		中野 綾美 編			メディカ出版	
教員からのメッセージ	小児の発達については、視聴覚教材や、学生の皆さん自身の場合との比較を通じて、具体的にイメージできるよう授業を展開していきます。						